

市政を問う

一般質問

6月定例会における市政に関する一般質問は、6月19日、20日、21日に行われ、10人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページに掲載、もしくは半田図書館・亀崎図書館に設置してあります。ご利用ください。



志民ネット
小栗佳仁

安全で美味しい学校給食

問 食材の受け入れ検査・異物混入・食中毒対策の現状と改善を伺います。

答 食材受け入れは、栄養教諭、栄養職員、調理委託業者の栄養士が検収責任者として受け入れ検査をしています。異物混入は、給食センターへ報告を受けた件数では平成29年度が10件で、対策として混入が発覚した都度、異物の内容、状態などをもとに原因を特定し、納入業者や調理業者の関係者に対し、今後の防止対策を検討、徹底させることにより再発防止に努めています。食中毒対策は、調理・配膳作業における手洗いの徹底や本人又は家族に下痢や嘔吐などの症状がある調理員は、ノロウイルスの検査を実施し、結果が出るまで自宅待機させ、人を原因とする食中毒の防止に努めています。

問 納品される食材の製造工程や検査なども書類で管理するようにし

問 県内で書類の提出を求めている市町は多く、事務の負担もかかることから、実施することは困難だと考えます。

答 異物の種類や時期などグラフ化や見える化はできないでしょうか。異物混入の内容を検証するための、傾向分析やグラフ化が必要だと考えます。

問 野菜類についても地元産食材を積極的に取り入れる取り組みを検討するべきと考えますが見解を伺います。

答 これまで白米のほばすべてと調味料は市内の製造品を使用するなど進めてきました。野菜類については、生産者、流通業者、JAなどの関係者からの情報収集や意見交換を進めながら、地元産食材の取り入れを進めていきたいと考えています。

問 給食センターの早期建設が望ましいと思いますが如何でしょうか。

答 より安全で美味しい給食を提供するためには、なるべく早期に建設することが望ましいと考えています。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



日本維新の会・無所属
竹内功治

LGBT(性的少数者)への支援体制

問 国民の13人に1人、約8%はLGBTとのことですが、半田市では支援する体制が出来ていません。今後の取り組みの考えを伺います。

答 個々の人権の尊重、多様性社会の重要性は認識しており、国、県、支援団体等との連携も視野に入れて、市民への理解促進と支援について取り組んでいく考えです。

問 全国ではLGBTの児童生徒がいじめや不登校になる事例があります。教職員の指導力向上に取り組んでいますか。人権尊重をテーマにした研修や県主催のLGBTの研修会に参加して理解を深めていますか。

答 LGBTの児童生徒への対応を伺います。現在のところ相談事となれば当該児童生徒と対話して、男女別のトイレや着替え場所、また制服等について、最適な対応を考えていきます。

問 市民相談の対応はどうか考えていますか。

答 現在、人権相談や保健師等による相談窓口はありますが、LGBTは専門的且つ繊細な対応が必要のため、国、県、支援団体等の相談窓口の周知に努めています。

問 支援を意味するアラビのマークの表示や職員研修を行い、専門窓口を考えてはどうか。

答 専門窓口までは考えていませんが、職員にLGBTへの理解促進を図る研修は考えます。

問 LGBTに対する市民の理解を高めるため、啓発活動を充実させるべきではないですか。

答 今年度中に市報で、LGBTへの理解を促す記事を掲載します。

問 全国では自治体同士が力を結集して、結婚を認めるパートナーシップ制度の導入、支援の充実を図る支援宣言、人権の条例や要綱、また男女共同参画の基本計画等にLGBTへの理解や支援が明記されています。今後のLGBTに対する取り組みの考えを伺います。

答 現時点では、今後改定される男女共同参画の基本計画へ明記することを考えています。

